

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	障害者の医療費助成事業	担当課・係名	福祉課障がい福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	8
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	8：心身障害者医療費助成の見直し	事業開始年度	昭和48年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	障がい者に対し医療費の一部を助成することにより、その保健の向上に寄与するとともに、更生を助長し、福祉の増進を図ることを目的とする。				
対象 (誰を・何を)	身体障がい者1～4級、知的障がい者A1～B1、精神障がい者1～2級の方が対象。				
内容	障がい者が医療機関に受診された際の保険医療費の自己負担分を町が助成するもの。県は重度障がい者を補助対象にしているが、町は中度障がい者までを助成している。				
根拠法令・条例等	大磯町障害者の医療費の助成に関する条例、大磯町障害者の医療費の助成に関する条例施行規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	155,811	157,616	167,034
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	28,219	29,832	28,750
	起債	千円			
	その他	千円	14,730	13,446	12,000
	一般財源	千円	112,862	114,338	126,284
	職員人数 (概算職員数)	人			0.80
	人件費計 (b)	千円			4,826
総事業費 (a)+(b)	千円	155,811	157,616	171,860	
事業費内訳 H 25 年度	印刷製本費：17千円、通信運搬費：17千円、手数料：2,000千円 心身障害者医療扶助費：165,000千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 受給者証交付件数	件	1,221	1,231	1,270
	②				
活動指標 (活動量)	① 医療費助成額	千円	153,875	155,639	165,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 受給者1人当たりの支給額	千円	126	126	130
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	事務の性質上、町が実施主体となるのは当然であると考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	医療費助成は重要であるが、限られた財源の中で今後この事業を安定的に運営していくためにも対象者の見直し等、改善を図る必要があると思われる。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	医療費を助成することにより、障がい者の更生が助成され、福祉の増進が図られ、事業目的に大きく貢献している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	医療保険と併用で利用する制度であり、対象者はよく利用しており、効率性は確保されている。事務量の大部分を占める医療費の審査と支払い業務は、専門の機関に委託している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	医療費の一部負担が当該事業コストの大部分を占めることから、削減の余地はない。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 医療費助成の歳出に占める割合は大きく、継続実施した場合、支出も増大していく中で見直しは必要であり、今年度中に改正する予定。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
平成25年度中に一部対象者の見直しを行う予定であるが、今後の最終的な目標としては県補助要綱の対象者に合わせたい。
② 平成26年度に着手する事項
なし。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

4月から新規65歳以上、新規身体障がい4級を助成の対象外とした。また、10月から所得制限を実施することから周知徹底を図る。
